

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 168 号	氏名	尾立 哲郎
学位審査委員	主査 久恒 邦博 副査 林 善彦 副査 村田 比呂司		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
コア用アルミナセラミックスの連結における、酸化マグネシウムの添加効果を明らかにしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価			
酸化マグネシウムを微量添加したアルミナから成る連結材料を作製し、連結した試料の曲げ試験、走査型電子顕微鏡観察、連結材料の線収縮率計測、破壊靱性値測定を行い臨床応用の有効性を検討しており、研究方法も妥当である。			
3 解析・考察の評価			
上記方法で解析した結果、酸化マグネシウムはアルミナの焼結をコントロールし緻密化を促進することで、連結強度を向上させることが明らかとなった。本研究の結果から臨床応用に有効であり、今後の展開が大いに期待される。			
以上のように本論文はオールセラミックス歯冠修復法に関する研究に貢献するところが大きく、診査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。			